



詳細につきましては、以下のホームページをご参照ください。  
<http://www.tokachi-zaidan.jp/>

日 時 : 平成 20 年 3 月 12(水)14:30 ~ 16:00  
場 所 : 十勝産業振興センター(とかち財産)大会議室  
(帯広市西 22 条北 2 丁目 23 番地 9)

内 容 :  
十勝地域の未利用農産バイオマスの賦存量と利活用の可能性  
北海道バイオマスリサーチ(株) 代表取締役 菊池 貞雄 氏  
小豆収穫残渣の収集運搬システムの開発  
十勝農試 生産研究部 研究職員 鈴木 剛 氏  
ながいも残渣、小豆収穫残渣の有効利用の可能性について  
(株)サタケ 環境システム部 課長 木村 哲也 氏

< 展示 >

- ・財団玄関前  
小豆殻収集装置付ピックアップスレッシャ(三由農機)と豆殻ロール(十勝農試)
- ・会議室前  
小豆殻ペレット、ながいもツルネットペレット

問合せ先 : 十勝産業振興センター  
TEL 0155-38-8850 FAX:0155-38-8809

「稲わら等バイオマスからのエタノール生産」シンポジウム開催のお知らせ  
( エネルギーの地産地消を目指して! )

(社)地域資源循環技術センターでは、稲わら等を原料としたエタノール生産について、  
学識経験者からなる研究会(座長:五十嵐泰夫東京大学大学院農学生命科学研究科教授)を  
開催し、先般、製造工程のみならず原料の収集・運搬から、副生成物・廃液の利用と処理に  
至るまでの技術の現状と課題等を取りまとめました。

今般、この成果を『稲わら等バイオマスからのエタノール生産』として出版するとともに、  
下記のとおり研究会のメンバーがプレゼンターとなるシンポジウムを開催しますので、バイ  
オエタノールについて施策や業務に携わっている方や、ご関心ある方の多数のご参加をお待  
ちしております。

詳細につきましては、以下のホームページをご参照ください。  
<http://www.jarus.or.jp/menu/kenshu/0802symposium-inawara.htm>

日 時 : 平成 20 年 3 月 19 日(水) 10:00 ~ 17:00  
場 所 : 東京大学弥生講堂 一条ホール  
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

定 員 : 300 名  
参加費 : 会員・賛助員:4,000 円/一般:5,000 円(学生:1,000 円)  
シンポジウム終了後、ロビーにて懇親会(会費 2,000 円)を行います。

内 容 :  
主催者挨拶 田中忠次((社)地域資源循環技術センター理事長)  
来賓挨拶 中條康朗(農林水産省農村振興局長)  
基調講演 斉木 隆((社)地域資源循環技術センター上級顧問・  
(社)アルコール協会研究開発部長)  
研究の趣旨説明 五十嵐泰夫(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)  
研究発表  
(1)原料の収集・運搬 芋生憲司(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)  
(2)原料の貯蔵 崔 宗均(東京大学大学院農学生命科学研究科客員教授)  
(3)前処理・糖化・濃縮 春田 伸(首都大学東京理工学研究科准教授)  
(4)発酵 石井正治(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)

- (5) 蒸留・濃縮・脱水 齋藤熹敬 ( (社) アルコール協会研究開発部長)
- (6) 副生成物・廃液の利用と処理  
品田 司 ( (社) 地域資源循環技術センター上席研究員)
- (7) 地産地消型バイオエタノール生産利用システムの構築を目指して  
五十嵐泰夫 ( 東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

閉 会

申込方法： 下記詳細ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、平成 20 年 3 月 14 日 (金)までに、F A Xにて、お申込みください。又はE-mail (int1@jarus.or.jp)にて、お名前、ご所属、連絡先電話番号又はE-mail アドレス、懇親会への参加の有無等を明記の上、お申し込みください。

ただし、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

申込先・問合せ先： (社) 地域資源循環技術センター 企画情報室企画情報班 神田  
TEL : 03-3432-6282  
FAX : 03-3432-0743

\*\*\*\*\*

事務局だより

読者のみなさまからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取組や情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

編集後記

2月26日(火)に北大学術交流会館で開催しました「バイオマスシンポジウム in 札幌」につきましては、お陰様で300人近い多数の方々にご来場いただき誠に有り難うございました。このたび、農林水産省、北海道開発局と開催できましたことは、内容の充実に加え、ネットワークとして連携強化が図られたものと実感しております。

さて、今回は奇しくも、農産物収穫残渣の利活用に関するシンポジウムについて、2件ご案内させていただいておりますが、その他にも、道内では空知支庁で平成18年12月から、稲わら等の農業系未利用バイオマスの利活用について検討が行われおり、今後、地域特性を活かした農産物収穫残渣の利活用の取組について注目が集まりそうです。

登録変更・解除について

配信登録の内容変更(送信先メールアドレスの変更など)や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局(北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ)で配信しています。

\*\*\*\*\*

\*〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 \*

\*TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 \*

\*Email: [kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp) \*

\*URL: [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle\\_2/biomass/biomass\\_top.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/biomass/biomass_top.htm) \*

\*\*\*\*\*